

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	佐賀県立武雄青陵中学校
-----	-------------

1 前年度 評価結果の概要	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、体育大会や文化発表会の中止など様々な学校行事に影響が出た。そうした中でオンラインによる講演会などの新たな取組を取り入れながら、教育目標の達成のため努力した。新型コロナウイルス感染症による臨時休業のため例年より少ない授業時数ではあったが、工夫を凝らした授業を行い、生徒の学習内容の定着につなげた。また、いじめへの対応については、教育相談等を活用し、いじめの早期発見に努め、それぞれの事案に対し適切に対応することができた。一方、新学習指導要領の研究については、十分な時間確保が難しく計画通りに進めることができないといった課題もあった。中高一貫教育校として、武雄高等学校と密接な連携を図りながら、高い志をもち自ら学びへと向かう姿勢を有する生徒を育成することを続けていきたい。
------------------	--

2 学校教育目標	高い志と未来を切り拓く力を持ち、地域や国際社会の発展に貢献できる、人間性豊かな人材を育成する。
----------	---

3 本年度の重点目標	(1) 学力の向上と「高い志」の育成 (2) 生徒指導の充実 (3) 中高の交流の促進 (4) 保護者・地域との連携 (5) 教職員の「働き方改革」の推進
------------	---

4 重点取組内容・成果指標

重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者
(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、年に2回、校内研修等により取り組みの促進を図る。							総務
	○「基礎学力」の定着とともに「学び方の基礎基本」を身につけさせる。 ○生徒が自ら考え、主体的な学習ができるようにする。	○学校評価アンケートにおいて、「授業内容がわかる」と回答した生徒が85%以上 ○学校評価アンケートにおいて、「授業が楽しい」と回答した生徒が85%以上	・個別学習、グループワーク、アクティブラーニング等を通じて、多様な生徒の能力を引き出す努力をする。 ・思考力、判断力、表現力を育む発問や課題を取り入れる。							教務 総務
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童生徒90%以上	・「ふれあい道徳」を通じて生徒・保護者の人権意識を高めるとともに、教職員の授業づくりに関する校内研修等を実施する。							総務
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○学校評価アンケートにおいて、いじめ防止等について組織的対応ができていると回答する職員が100%	・いじめの認知・覚知に対する対応マニュアルの内容周知と見直しを行う。 ・いじめの対応についての研修・会議を年間に3回以上行う。							生徒指導
●健康・体づくり	○児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	○学校評価アンケートにおいて、「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした中学3年生が80%以上	・中高交流の体験学習や、教科横断的な授業を通じて、目標設定の手助けをする。 ・さまざまな講演等を通じて、ハイレベルな学問にふれる機会をつくる。							総務
	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒90%以上	・生活状況調査、食に関する意識調査を実施する。 ・食育だよりの発行により啓発を図る。							保健相談
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	○安全に関する資質・能力の育成	○生徒の防災意識を高めるとともに、自然災害に対する具体的な備えを行う。	・PTAと連携をとりながら、生徒、教職員分の備蓄食糧の整備、宿泊に備えての毛布、マット等の準備を進める。 ・毎月安全点検を行う。 ・学校周辺の危険箇所の把握と情報を共有する。							教務(PTA) 保健相談
	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日の設定で、職員に勤務時間短縮の意識向上を促す。 ・部活動休養日を設定し、遵守する。							教頭
●保護者・地域との連携強化	○ICTの活用による業務改善	○開かれた学校づくり	・メール配信機能の充実による保護者との連携の強化を図る。 ・学校ホームページの活用等による情報提供を行い、広報活動を充実したものにする。							教頭・教務

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目

重点取組				中間評価		最終評価				主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○新学習指導要領への対応	○新学習指導要領の研究	○全教職員が新学習指導要領の内容を理解し、把握する。	・中高連携の実践の中で、新学習指導要領での6年間の指導計画を作成する。 ・全教職員が年2回以上公開授業を行う。							
○生徒が行きたいと思う学校づくり	○魅力ある学校行事等の企画・実践	○学校評価アンケートにおいて、「充実した学校生活を送れた」と答える生徒が80%以上	・職員間の情報共有、共通理解を確実に行う。 ・学校での生徒の居場所づくりをしっかりと行う。							教務
○制服の検討 ○校則の見直し	○第3の制服の検討 ○校則の見直しや細部の共通理解が必要な事項について、生徒・保護者の意見を聞く。	○武雄高校との検討会を進める。 ○生徒会を中心に、生徒自身が考える場を設ける。	・本校独自、武雄高校との合同の制服検討委員会を複数回開催する。 ・生徒・保護者の意見を積極的に取り入れる。							生徒指導

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	
--------------------	--